

ようやく3年半にわたった長いトンネルを抜けるのでしょうか？ 2020年の幕開けから始まったCOVID-19パンデミックは、オンライン会議や学会のハイブリッド開催など便利になった面もありますが、あまりにも大きな影響を社会に及ぼし、特にわれわれ医療従事者にとっては青天の霹靂でした。本年3月13日からマスク着用が個人の判断となり、5月8日からは5類感染症に移行するとともに、社会ではさまざまな緩和政策が進められます。医療現場でも各施設で入院前PCRや抗原検査、面会制限などが徐々に緩和される方向で検討されています。

このような状況のなかで、本誌の名誉主幹であられる駿河敬次郎先生が3月21日に102歳でご逝去されました。駿河先生は、私が順天堂大学時代に所属していた硬式庭球部の顧問であられ、駿河先生と私の祖父が錦糸病院（現在の賛育会病院）での先輩後輩であったことから、駿河先生に小児外科の魅力をこと細かに教えていただきました。駿河先生は、私を小児外科に導いてくださった大恩人であり、駿河先生とお会いしなければ、私が小児外科医になることはなかったと思います。最大限の感謝とともに、心よりの哀悼の意を表します。

さて、前置きが長くなりましたが、今回は「ロボット支援手術」という企画を組みました。これは、2021年12月に開催された第34回日本内視鏡外科学会総会でのワークショップ「小児ロボット支援手術の幕開け」の演者を中心に構成した企画であり、現存するロボットの種類や保険適用、プロクター制度など、小児外科領域におけるロボット支援手術導入期の現状や問題点を詳細に解説していただきました。成人領域でのロボット支援手術は驚異的なスピードで広まっていますが、小児領域では小児用細径鉗子、小児対応ロボット、保険収載、コスト、症例数（少子化）など、まだ検討されなければならない点が多々ある状況です。今後、小児領域におけるロボット支援手術がどこまで適応拡大できるかが楽しみです。

(世川 修)

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5階

TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）東京医歯学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

特集 今日の小児肝移植

世界における臓器移植の展開	笠原 群生
小児移植の問題点と今後の展開	山田 洋平
小児移植コーディネートの現状と課題	伊澤 由香
胆道閉鎖症に対する肝移植の問題点	
—小児外科医の視点から—	水田 耕一
胆道閉鎖症年長例に対する肝移植の現状と	
問題点	佐々木英之
胆道閉鎖症移行期症例に対する肝移植の	
治療成績と適応	眞田 幸弘
葛西術後成人期移植症例の予後因子	越智 崇徳
遺伝性疾患に対する小児期肝移植症例の	
移行期医療上の問題	小川 絵里
Langerhans 組織球症に伴う肝線維化に対する移植	
問題点	梶原 啓資
小児悪性肝腫瘍に対する移植治療	阪本 靖介
右房内腫瘍栓を伴う肝芽腫症例に対する肝移植	
問題点	井原 欣幸
小児急性肝不全（劇症肝炎）に対する移植治療	
問題点	福田 晃也
小児期肝移植後の <i>de novo</i> 悪性腫瘍	岡本 竜弥
PTLD に対する治療の課題	平田 雄大
胆道閉鎖症に対する生体肝移植後の胆管合併症の	
管理	本田 正樹
小児生体肝移植後の神経学的合併症	内田 孟
小児期発症原発性硬化性胆管炎の病態と肝移植の	
適応	十河 剛
小児肝移植後の再移植	岡島 英明
肝移植後の妊娠・出産	富田 紘史
非移植施設からみた肝移植の課題について	
—肝小腸異時移植症例の管理経験から—	武藤 充

名誉編集委員

秋山 洋 石原通臣 岩中 督
大沼直躬 大谷俊樹 角田昭夫
土岐 彰 長島金二 橋都浩平

編集委員

山崎洋次 横森欣司
黒田達夫 浮山越史 金森 豊
北川博昭 越永従道 世川 修
渡井 有

小児外科

第55巻第5号

©2023年5月25日発行

定価3,190円(本体2,900円+税10%)

編集

小児外科編集委員会

株式会社 東京医歯学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9112 (直) FAX 03-3237-9115

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551 (代) FAX 03-3265-2750

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2023年前金予約購読料1年分49,280円(本体44,800円+税10%)

(小児内科・小児外科 合同増刊号を含む)

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です